

24年度通常総会議事録

- 1 日 時 平成 24 年 7 月 7 日（土）15 時 30 分～17 時
- 2 場 所 茨城県那珂郡東海村船場 768 東海村中央公民館 第 1 研修室
- 3 出席者数 正会員 11 名、委任状提出 6 名（5 月 31 日時点での正会員数 22 名）
＜出席者名＞谷口、土屋、佐藤、清水（朋）、寺西、池田、中村、小宮山、服部、
恵利、清水（立）（以上、正会員）、佐藤（稔）（活動会員）
秋山（正会員、7/1 入会）
- 4 議長および議事録署名人について
 - ・谷口武俊が議長として議事進行を行った。
 - ・議事録署名人として、佐藤隆雄と土屋智子が議長より指名された。
- 5 審議事項
 - (1) 23 年度事業活動報告案および収支決算書案について
23 年度事業活動報告（案）および収支決算書（案）の内容の説明が行われた。質疑応答の後、活動報告の見出し番号を修正のうえ成案とすることが承認された。
【主な質疑応答】
Q: 会費の納付を忘れることがあるので、督促をしてほしい。
土屋：今後は連絡したい。
Q: 決算書には昨年度の予算との比較が必要ではないか？ 予算案とどう違うかを説明してほしい。
土屋：NPO 法での書式に従って作成している。予算と大幅に違うのは広報誌の作成と配布の支出である。
 - (2) 24 年度事業活動計画および予算案
24 年度事業活動計画（案）と予算案が審議された。23 年度の情報発信活動の活発化による繰越額の減少、原子力規制機関の創設に伴うリスクコミュニケーション研修講師の収入減を想定し、来年度予算も次年度への繰越額が大幅に減少する見込みであることが説明された。予算案については、理事会の議論を受けて原電からの団体賛助会員費の追加、広報誌費用の追加を踏まえ、修正することが説明された。活動内容に対する活発な意見交換の後、予算案を修正の上、成案とすることが承認された。
【主な議論の内容】
Q: ワンコイン講座は 1 回でよいのか？テーマが何かによるが、もう少し開催する必要があるのではないか？
土屋：まだテーマが決まっていないので、1 回分のみ計上した。また、1 回あたり 10 名という人数も、広報活動に苦労した経験を踏まえて少なめに見積もっている。テーマは東海村支部でよく議論して決めたい。
Q: ワンコイン講座の講師は外部から呼ぶのか？
土屋：そうである。
谷口：リスクに関するリテラシーを養成する事業に位置付けられているので、NPO 内部から講師を出してもよいが、どういうテーマかに依存するだろう。理事会でもあったが、様々なリスクに関連した情報の何を見るべきかを示す講座になるとよい。

土屋：公民館講座の経験から自主講座に人を集めるのは大変だと実感している。

谷口：自ら人を集めるのは大変である。控えめな計画でよい。

土屋：もうひとつ、原子力防災にも取り組む必要がある。村は待ちの姿勢なので、村が動くのを待っていると、いつまでもできない。

佐藤：以前のワンコイン講座は、公民館講座の場を使って参加募集をしたのではなかったか？

土屋：そうである。

Q：村長も「読み解く」能力の必要性を主張している。自分はシーキューブに入って物の見方が訓練されたと感じる。今は、学者の見解が通らなくなっていることもあり、住民が自ら理解するものの見方というものが重要になる。

谷口：視察活動も未定なので、東海村支部で今年度の活動をよく議論して進めてほしい。理事会では、廃棄物など、まだ十分情報が出ていないものがあるという意見があった。廃棄物は住民にとっても関心があるところだろう。そういった関心のあるものを見えるようにすることが重要。

(3) その他

今年度新規加入の会員より自己紹介と加入した理由などが紹介された。谷口代表理事より、東海村が進めるセンター構想と社会科学研究拠点の重要性が報告された。また、原子力事業の地域社会に対する配慮不足への批判、脱原発と東海村の発展との関係について活発な意見が出された。最後に、谷口代表理事より、シーキューブは健康・安全・環境のリスクを議論する場をつくること、まだ市民に見えていないリスクを見せる役割があること、福島からの避難者とのコミュニケーションも検討することが今後の課題として示された。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が次に署名押印する。

平成 24 年 7 月 12 日

代表理事 谷口 武俊



副代表理事 佐藤 隆雄



副代表理事 土屋 智子



この写しは議事録の原本と相違ないことを証明する。

平成 24 年 7 月 12 日

名称 特定非営利活動法人 HSE リスク・シーキューブ
東京都世田谷区経堂 1-27-9 経堂シティハウス 401

代表理事 谷口 武俊

